

2022年度 塾長賞・塾長奨励賞

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動などの各分野において、学生の範となる活躍をした塾生を表彰するものです。

2022年度は、塾長奨励賞に4件6名が選ばれ、3月の学部卒業式において表彰されました。

塾長賞・塾長奨励賞について

塾長賞審査委員会委員長 学生総合センター長・法学部教授

たのうえまさなる
田上雅徳

塾長賞・塾長奨励賞は、学術・芸術・社会活動・文化活動など、正課以外の幅広い分野において、めざましい業績を挙げた塾生を表彰するものです。表彰の基準は、その業績が「慶應義塾の存在自体の光輝となるもの」かどうかという点につきまます。

2022年度は9件が推薦され、慎重な選考の結果、4件6名が塾長奨励賞の荣誉に輝きました。発田志音君（法学部4年）は、開発したセーフゲーディング教材を世界211の国と地域で普及させ、国際的なセーフゲーディング促進に大きな役割を果たし、「Certificate of Appreciation, International Tennis Federation」を受賞しました。平野有桜君（法学部3年）は持ち前の法的素養と法律サークルで培ってきた討論会の経験を活かして自身の立論を見事に展開し、「第72回全日本学生法律討論会 立論の部」において第1位を獲得しました。松本絃周君（理工学部3年）、香山楷君（理工学部3年）、角田大司郎君（理工学部3年）は特定の研究室に属することなく、自主的に編成したチームで日本酒醸造シミュレータを開発し、「Interverse Virtual Reality Challenge 2022」において総合優勝しました。成瀬茉倫君（総合政策学部3年）は鹿児島県奄美大島の伝統音楽「島唄」の歌い手として各種メディアへの出演、ワークショップなどを通じた文化発信活動を行い、その活動が評価されNew York Fellowshipに採択されました。いずれの業績も個性にあふれ、卓越しており、先に示した表彰基準を十分に満たすものです。

塾生諸君には、大学生活、またその後の人生をより豊かなものとするべく、今回の受賞者に続いて、学業以外の分野においても自己を磨き、さまざまな領域で「光輝」を放つ存在となることを期待しています。

塾長賞

該当なし

塾長奨励賞

セーフガーディング促進による

「Certificate of Appreciation, International Tennis Federation」受賞



法学部4年 **ほったしおん**
発田志音君

「Governance Self-Assessment Sheet for College Tennis Clubs」を世界211の国と地域で普及させるなど、学術・体育団体の適切な組織運営を通じた国際的なセーフガーディング促進への取り組みを行い、「Certificate of Appreciation, International Tennis Federation」を受賞しました。その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところです。

「慶應義塾では、共通の課題意識を持つ仲間と徹底的に討議をする機会に恵まれました。これを生涯の宝とし、今後も人間の尊厳が重んじられる世界の実現に尽力してまいります」

「第72回全日本学生法律討論会 立論の部」 第1位



法学部3年 **ひらのありき**
平野有桜君

「第72回全日本学生法律討論会 立論の部」において第1位を獲得しました。成し得た業績は同君のためまね研鑽の賜物であり、慶應義塾の誇りとするところです。

「大変うれしく、光栄に思います。推薦者の田高教授、そして、一緒に検討を重ねてくれた有志たちに、心より感謝申し上げます。優秀な法律家になれるよう、精進してまいります」

塾長 奨励賞

「Interverse Virtual Reality Challenge 2022」 総合優勝



理工学部3年 **松本 紘周君** 理工学部3年 **香山 楷君**

理工学部3年 **角田 大司郎君**

特定の研究室に所属することなく、有志の学生が協力して「Interverse Virtual Reality Challenge 2022」において総合優勝し、高く評価されました。その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところです。

「このような荣誉ある賞を頂き大変光栄です。推薦してくださいました杉本教授をはじめ、応援していただいた皆様に深く感謝いたします。今後も精進してまいります」

鹿児島県奄美大島の伝統音楽「島唄」を通じた文化発信活動による社会への貢献



総合政策学部3年 **成瀬 茉倫君**

鹿児島県奄美大島の伝統音楽「島唄」の歌い手として奄美の文化発信活動を行うNew York Fellowship[※]に採択され、高く評価されました。その顕著な実績は慶應義塾の誇りとするところです。

「この受賞は日頃からご指導いただいている教授や多くの友人、家族、そして私を育ててくれた島の人たちのおかげです。ありがとうございます！」

※ New York Fellowship は、非営利団体「フジアン・カルチュラル・カウンシル（ACC）」が、アジアと米国におけるアーティストや研究者、アートの専門家に国際文化交流の機会を提供するプログラムの一つです。

※学年はいずれも受賞時